

旧海軍大社基地関連施設群に関する状況について

旧海軍大社基地関連施設群（以下「施設群」という）について、下記のとおり状況を報告します。

記

1. 滑走路跡の調査について

事業者（アリオン）の同意を得て、昨年12月、事業者が所有する滑走路跡の現地調査を行った。現在、調査成果を基に、歴史学習等での活用に向けたデータの取りまとめ作業を行っている。

①調査内容

- ・現地測量
- ・空中写真撮影による測量
- ・ドローンによる撮影（動画・静止画）
- ・360度パノラマ撮影
- ・地下構造確認のための掘削（6か所）

②調査成果の活用

- ・出雲弥生の森博物館展示 R4年度「いつまでも戦後でありたい」での紹介
 - ・出雲弥生の森博物館が行う歴史学習での活用
 - ・調査報告書の作成
 - ・QRコードの読取による大社基地の説明、滑走路跡の写真・動画・3D画像、図面等の情報の閲覧
- ※県が作成している施設群のビデオ教材も合わせて活用する。

2. 歴史学習の場の確保について

- ①昨年11月、総務委員会において、施設群（滑走路跡、段原鉄橋、掩体、物資保管壕、旧出西国民学校（現アース館））を視察いただいた。
- ②歴史学習の場として活用する滑走路跡の一部については、確保の方法等について継続して検討・協議している。

3. 島根史学会、島根考古学会、戦後史会議・松江の要望への対応

- ①令和3年10月16日、3団体から市に対し、施設群「国史跡」指定の要請あり。
- ②断続的に担当課と3団体との意見交換を実施
- ③令和4年2月9日、市長・教育長による3団体との面会の際、市の方針を示す。

【市への要望】

- ・市が行った調査を踏まえた学術的な知見から、「遺跡群」ならびに「主滑走路」の価値・意義を示してほしい。
- ・学術的・歴史的価値を踏まえたうえで、「主滑走路」の保存方法と範囲について、広く意見を取り入れる形で再検討してほしい。

【市の方針】

- ・事業者の同意を得て、滑走路跡の記録をとる調査を実施済
- ・調査成果は博物館の展示や歴史学習等に活用する。
- ・「歴史学習を行う場所」として滑走路跡の一部保存を検討中
- ・施設群総合調査を実施予定
 - ※「総合調査」とは、施設群の全体像を把握するための調査であり、その成果を調査報告書としてまとめる。
- ・民有地となった滑走路跡の開発を中断する権限はなく、事業者が所有する滑走路跡を買い上げる考えもない。
- ・民有地となった滑走路跡について「国史跡」指定に向かうことは困難

4. 市文化財保護審議会への対応

今後の保護審議会において、滑走路跡の調査成果・活用、及び施設群総合調査の実施方針（案）を示す予定。

5. これまでの経過

R3年

- 4／9 島根史学会他2団体「大社基地遺跡群の学術調査、文化財指定と保存に関する要望」
- 7／30 全協「旧海軍大社基地関連施設群に関する状況及び今後の方針について」（報告）
- 8／25 4月9日の要望に対し回答
- 8／31 全協 9月補正主要事業説明「大社基地跡関連施設群調査・活用事業」
- 9／9 総務委員会その他事項説明「旧海軍大社基地関連施設群に関する状況について」
- 9／21 予算特別委員会総務分科会
- 10／16 島根史学会他2団体「遺跡群に関する再要望と「国史跡」指定の要請」
- 11／17 総務委員会による施設群現地視察
- 12月 滑走路跡調査（事業者所有地）

R4年

- 1／25 島根史学会他2団体「遺跡群の調査・保存に関する要請及び市長・教育長との面会要請」
- 2／9 島根史学会他2団体と市長・教育長面会